



大好評企画!

特集

# 「世界の今」をつかむ! 英語の新語30

毎年、数多くの新語が生み出されています。そのような新語の多くは、世相を反映しており、世界の現状を理解するのに大いに役立ちます。一時的なブーム(fad)で終わり、すぐに消え去ってしまう新語も少なくありません。その一方で、大勢の人に使われるようになった結果、一般的な表現として定着している新語もあります。定着しているかどうかの判断基準の1つが辞書への掲載の有無です。そこで、今月号では、2025年に新たに辞書に加えられたものを中心として、30個の新語を取り上げました。いずれも、それなりに市民権を得ており、新聞や雑誌、あるいはSNSなどで幅広く使われているものばかりです。会話例を通じて、これらの新語がどのように使われているかをチェックしてみてください。

執筆: EE編集部

科学技術や医療技術の発達によって、昔は存在しなかった新しい言葉が生まれています。昨今、懸念が増す環境問題をめぐっては、新たな用語が次々に現れています。

## eco-anxiety

### エコ不安症、気候不安症

地球温暖化や環境破壊などによる、地球の危機的状況に対する不安や悲しみ、罪悪感などによって生じる「心理的ストレス」がeco-anxiety（エコ不安症）です。「気候不安症」とも呼ばれます。フランス環境エネルギー管理庁の2024年の調査によれば、エコ不安症を抱えている人の数は同国内に420万人もいるそうです。

#### 会話例

A: Every time I read about global warming

or natural disasters, I get really worried and can't stop thinking about the planet's future.

B: Yeah. I get **eco-anxiety** too whenever I see those reports.

A: 地球温暖化や自然災害について読むたびに、強い不安を感じて、地球の未来のことが頭から離れないんだ。

B: うん。私もそういう報道を見るたびに「エコ不安」になるよ。

## painsomnia

### ペインソムニア、慢性の痛みのために眠れない状態

pain（痛み）とinsomnia（不眠症）を合わせた造語です。慢性的な痛みのために、寝付けなかったり、中途覚醒してしまったりする「睡眠障害」（sleep disorder）のことを指します。この現象自体は以前から知られていましたが、新語として定着したのは最近になってからです。

#### 会話例

A: I can't seem to get rid of this crick in my back. It's been hurting so much I haven't

had a good night's sleep for weeks now.

B: That sounds like **painsomnia**. You really should see a doctor, you know.

A: 背中のこりがどうしても取れないんだ。痛くてたまらなくて、もう何週間もぐっすり眠れてないんだよ。

B: それは痛みによる不眠症（ペインソムニア）みたいだね。絶対に医者に診てもらった方がいいよ。

## tadpole water

### オタマジャクシの水、チアシード入りダイエット飲料

南米原産のチアという植物の種（チアシード）を入れた水のこと。チアシードは水に浸すと大きく膨らんでゼリー状になるため、満腹感を得やすくなるとされます。ダイエットのために飲む人が増えていますが、見た目がまるで「オタマジャクシ（tadpole）がたくさんいる池の水」のようなので、このような名前で呼ばれています。

#### 会話例

A: I've been drinking **tadpole water** every morning lately. It keeps me feeling full until lunchtime.

B: I tried that for a week but couldn't get used to the slimy texture.

A: 最近毎朝「オタマジャクシの水」を飲んでるんだ。お昼までお腹がいっぱいな感じがするんだよ。

B: 1週間試してみたけど、あのぬるぬるした食感にどうしても慣れなかったな。

